

一般社団法人日本内科学会令和3年度第2回理事会議事録

1. 日時 令和3年9月9日(木) 14時～16時
2. 場所 東京都文京区本郷3丁目28番8号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室を開催場所とする Web 会議
3. 理事総数 20名 出席した理事の数 19名
出席者 [理事]
矢富 裕(理事長)、奥村利勝、張替秀郎(副理事長)、黒川峰夫、南学正臣(副理事長)、服部信孝、福田恵一、森屋恭爾、有馬 寛、下畑享良、中本安成、稲垣暢也、塩島一朗、吉治仁志、山本一博、日浅陽一、下田和哉、筒井裕之、三谷絹子の19名
[監事]
梶波康二、北園孝成、持田 智の3名
[その他出席者]
小室一成(第120回講演会会長)、妹尾 浩(第119回講演会準備委員長)、森田啓行(第120回講演会準備委員長)、横山彰仁(専門医制度審議会会長)、高橋和久(日本内科学会雑誌編集主任)、大平弘正(Internal Medicine 編集主任)、須永眞司(専門医部会会長)の7名
欠席者 [理事]
駒津光久の1名

4. 議事の経過及び結果

矢富 裕理事長が議長となり、次の18議案について逐次審議することとなった。今回は Web 会議ソフト(ZOOM)を利用して開催し、情報伝達の即時性と双方向性を確認した後、議事に入った。

第1議案 第118回講演会関係事項

事務局より、本年4月に開催した第118回講演会の会計報告があり、承認を得た。

第2議案 第119回講演会関係事項

(1) 開催概要について

稲垣第119回講演会会長より、講演会の概要と日程表について報告があり、了承を得た。

(2) 一般演題について

稲垣第119回講演会会長より、一般演題の募集について報告あり、了承を得た。また、前回理事会で報告のあった優秀演題セッションについては、分野ごとに60分程度で従来のポスター掲示での発表形式ではなく口述発表とすること、対象を40歳以下の研究者とするとの報告があり、了承を得た。

第3議案 学会在り方検討委員会関係報告

三谷委員長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。また、所管する男女共同参画・働き方改革ワーキンググループから専門医制度審議会宛に、内科専門研修プログラム基幹施設からの評議員候補者の推薦については、各支部とも最低1名は女性候補者を推薦いただくように要望書を提出したとの報告があった。昨年度の委員長であった梶波監事からは、本会の予防に関する取り組みについて、ワーキンググループで引き続き検討をお願いしたいとの発言があった。

第4議案 専門医制度審議会関係事項

(1) 本年度審議会報告

横山審議会会長より、試験委員会報告、救急委員会報告、COVID-19の影響による追加検討措置、研修施設年次報告書等についての報告があり、了承を得た。COVID-19の影響による追加検討措置については、「修了見込」を得た専攻医でJMECC未受講の場合と剖検およびJMECC以外の修了要件(各種講習会や施設群研修等)が未達状況にある場合の措置案について説明があり、承認を得た。研修施設年次報告書については、剖検体数減少に関わらない定員設定の維持について説明があり、承認を得た。また、南学副理事長から日本病理学会の病理解剖のアンケートに関連して、病理医が詳細に作成した病理解剖報告書をそのまま遺族に渡すことについて注意喚起を行っているかとの質問があり、日本病理学会へ確認することとした。吉治理事からは、資格認定試験が2年連続で延期となっているが、本会としてCBT(Computer Based Testing)の採用についてどの様に考えているか質問があり、導入の方向で検討しているとの回答があった。

(2) 第36回認定内科医資格認定試験合格者の認定

第36回認定内科医資格認定試験合格者647名の認定内科医資格の申請があり、承認を得た。また、COVID-19の影響により救急蘇生講習会を未受講の場合は、令和4年3月31日までに受講いただくとの説明があった。

(3) 第1回内科専門医資格認定試験合格者の認定

第1回内科専門医資格認定試験合格者1,856名の内科専門医資格の申請があり、承認を得た。そのうちの581名については研修プログラムの修了認定を得ていない修了見込者(COVID-19の影響に伴う措置対象者)であり、修了要件を満たした後、日本専門医機構へ内科専門医資格付与対象者として申請するとの説明があった。

(4) 第 48・49 回 総合内科専門医試験 次年度への延期と実施について

「受験資格」と「受験料」はそのまま令和 4 年度に持ち越しとすること、COVID-19 の影響を見据えて試験会場は本会の 10 支部各々に試験会場を設けて実施することについて説明があり、承認を得た。

第 5 議案 専門医部会関係報告

須永専門医部会会長より、令和 4 年度予算の件、令和 3 年度事業中間報告、事業計画の件と令和 3 年度各支部の活動報告コロナ禍における役員任期等について報告があり、了承を得た。

第 6 議案 学術集会運営委員会関係報告

山本委員長より、本年度委員会の報告、第 120 回講演会の計画のアウトライン、第 49 回及び第 50 回の内科学の展望等について報告があり、了承を得た。小室第 120 回講演会会長からは、現在プログラムを検討中であり、第 119 回講演会の優秀演題セッションについても検討したいとの発言があった。

第 7 議案 生涯教育委員会関係報告

有馬副委員長より、本年度委員会の報告、本年度生涯教育講演会の開催状況、2022 年度生涯教育講演会開催計画等についての報告があり、了承を得た。

第 8 議案 学術誌編集委員会関係事項

(1) 日本内科学会雑誌編集委員会報告

高橋編集主任より、日本内科学会雑誌の本年度の発行状況と既に決まった特集号の内容や特別掲載の内容等について報告があり、了承を得た。

(2) Internal Medicine 編集委員会報告

大平編集主任より、Internal Medicine の本年度の Online Journal の発行状況と投稿数、採択率ならび採択数、Impact Factor (1.271) について報告があり、了承を得た。

第 9 議案 総務委員会関係報告

(1) 本年度委員会報告

議長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

(2) 令和 4 年度名誉会員、功労会員候補者について

議長より、令和 4 年度名誉会員、功労会員候補者について説明があり、承認を得た。

(3) 令和 4 年度理事、各委員会委員候補者の推薦依頼について

議長より、支部からの令和 4 年度理事、各委員会委員候補者推薦の依頼について説明があり、了承を得た。

(4) 評議員の推薦依頼について

議長より、令和 4 年度の大学、内科専門研修プログラム基幹施設および各支部からの評議員候補者推薦の依頼について説明があり、了承を得た。大学からの推薦については、医学部が新設された東北医科薬科大学と国際医療福祉大学の 2 大学について、東北医科薬科大学は最初の卒業生が出る来年から、国際医療福祉大学は最初の卒業生が出る再来年から依頼するとの報告があった。また、内科専門研修プログラム基幹施設からの推薦については、各都道府県より 1 名以上の選出が可能とすることとして、四国支部の定数を 3 名から 4 名に変更したいとの説明があり、承認を得た。

(5) 行政処分かかる会員の処分について

議長より、厚生労働省の行政処分（令和 3 年 7 月 16 日発効）を受けた会員 4 名に対して提示資料の通り処分したいとの提案があり、承認を得た。

第 10 議案 医療安全委員会関係報告

服部委員長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 11 議案 倫理委員会関係報告

議長より、本年度第 1 回の委員会開催日について報告があり、了承を得た。

第 12 議案 AI プロジェクト委員会関係報告

南学委員長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 13 議案 財務・組織管理委員会関係報告

議長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 14 議案 支部関係事項

(1) 令和 4 年度支部助成金について

中本担当理事より、令和 4 年度の支部助成金額について別紙資料の説明と提案があり、承認を得た。

(2) 本年度支部代表者会議の開催について

中本担当理事より、本年度の支部代表者会議の開催日程について報告があり、了承を得た。

山本理事より、地方会の開催がハイブリッド開催となり費用がかかるため、助成金の増額を検討いただきたいとの発言があり、事務局からは本部が使用しているシステムを使って支部の費用が低減出来るように検討しているとの回答があった。中本担当理事からは、本件は中国支部だけの問題ではないので、次の支部代表者会議の議題として取り上げられるとの説明があった。矢富理事長からは、助成金の合計が 1 億円を超えていることもあり、きちんと議論していきたいとの発言があった。

第 15 議案 新入会者の件

議長より、本年 5 月 1 日から本年 9 月 8 日までに 484 名の入会者があったとの報告があり、承認を得た。

第16議案 日本専門医機構関係報告

事務局より、機構専門医の資格認定・更新について、令和4年度専攻医募集について、総合内科専門医のサブスペシャリティ領域認定医について、総合診療専門医とのダブルボード協議について、サブスペシャリティ領域の整備基準審査について報告があり、了承を得た。専攻医個人情報の日本専門医機構の登録管理システムへの提供については、日本専門医機構から厚生労働省、都道府県へ個人情報を第三者提供することについて予め専攻医の同意を得ていないことから、慎重に対応することとして初年度については見合わせることにし、専攻医個人で登録していただくとの説明があった。機構でデータベース検討委員会の委員長を務める稲垣理事と南学副理事長から機構内での個人情報の取り扱いについて紹介の後、事務局から次年度以降については予め個人情報の提供等について周知して、同意を得たうえで提供できるようにしたいとの説明があった。

第17議案 日本医学会連合関係報告

議長より、日本医学会連合の活動状況について説明があり、了承を得た。また、南学副理事長より、COVID-19 expert opinion working group と Japan CDC 創設に関する委員会の活動について報告があった。Japan CDC 創設に関する委員会については、若手委員の推薦の要望があったが、まだ活動が見通せないところがあるため、現時点では推薦を見合わせているとの報告があり、了承を得た。

第18議案 その他

(1) 輸液製剤協議会からの意見書提出の依頼について

議長より、輸液製剤協議会から基礎的輸液の必要性に関する意見書提出の依頼があったとの説明があり、提出することです了承を得た。

(2) 「我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査」について

議長より、本会におけるアンメットメディカルニーズに関する調査の結果と現在の調査状況について説明があり、了承を得た。

(3) 救急医療等における基盤整備のための情報項目等の標準化に関するお願い（東北大学）について

議長より、東北大学外科病態学講座救急医学分野からの救急医療等における基盤整備のための情報項目等の標準化に関する協力依頼について説明があり、救急委員会にて対応し協力することで了承を得た。

(4) 疾病及び関連保健問題の国際統計分類（ICD-11）に関する協力依頼について

議長より、厚生労働省からのICD-11の和訳に関する依頼について報告があり、了承を得た。

(5) IAS 国際エイズ・サイエンス会議誘致へのサポートレター発行依頼について

議長より、日本エイズ学会からの国際会議誘致へのサポートレター発行の依頼について説明があり、発行することで了承を得た。

(6) 今後の理事会等開催予定

議長より、今後の理事会等開催日程について報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

令和3年9月9日

一般社団法人日本内科学会理事会 議長（理事長） 矢富 裕

議事録署名人（監事） 梶波 康二

議事録署名人（監事） 北園 孝成

議事録署名人（監事） 持田 智